

東照宮御代

神戸

高百俵五人扶持

平姓

家紋

丸之内上羽蝶
瓜

新三位左近衛中将資盛後胤神戸蔵
人具盛男

信孝

三七郎

実者織田右大臣信長三男

天正十年信雄と相戦信孝之軍敗績

終に信孝之母并幼息及長臣幸田彦右衛門

か母を為人質相送て和ヲ整ふ翌天

正十一年信孝再ひ自立之志を發

秀吉怒て信孝之母并幸田彦右衛門

か母を安土之城下ニおゐて磔す是より

先に信孝之幸臣古市孝季幼息

を奪ひ竊に勢州へ落関神戸

之一族に便り養育す時世を憚り

神戸之本姓関を名乗関蔵之丞と

号勢州に蟄居す成長之後初而

御當家江奉仕信孝終に勝利を失い

同年四月廿九日尾州野間之内海に

於て生害す行年廿六歳

盛信

十太夫

初蔵之丞

慶長年中於駿河被 召出御徒○其後

台徳院殿御代御本丸奥火之番○其後西

丸御徒目付○其後御本丸御夜居之間

御番 御目見仕候○寛永十九年三月

二日死池之端心行寺葬

以下略